

評価表（地域密着型特別養護老人ホーム）

区分	評価項目		評価基準	評価点		(福)愛誠会	
法人評価・事業の継続性・安定性	事業実績	施設運営の実績	当該サービスを3年以上運営している。(令和7年6月1日時点)	10	該当するもの いずれかに○	10	
			本市内で介護・医療・福祉事業を3年以上運営している。(令和7年6月1日時点)	7			
			代表者又は管理者が当該サービスにおける介護等の実務経験を3年以上有する。(令和7年6月1日時点)	3			
			本市公募案件で選定内容の不履行がある。【以下のいずれかに該当があれば減点】 ・選定辞退又は事業所を廃止したことがある。〔辞退した日又は廃止日から6年間〕 ※ ・開所年度の遅延又は定員不足で開所したことがある。〔開所した日又は不足を解消した日から3年間〕 ・事業所を休止したことがある。〔再開した日から3年間〕 ※ ※当該事業所の指定から10年経過後の休止又は廃止は除く。	-15		0	
	決算状況	収支(単年度)の状況	過去2年間の単年度決算が黒字である。	(いずれも黒字) 5	(いずれか黒字) 3	0	
		収支(累積)の状況	直近決算が累積黒字である。	5		5	
		財務外部監査の実施状況	監査法人による外部監査を実施している。	5		5	
信頼性	第三者評価の受審	令和4年度～令和7年度の間に、第三者評価を受審している(法人の運営する全サービスの既存事業所のうち1事業所以上、他の都道府県のものでも可、ただし、同一法人内の事業所に限る)。※地域密着型サービスで受審が義務付けられている外部評価を除く。	5		0		
	実地指導の指摘状況	過去2年間(令和5年度・令和6年度)に、法人の運営する全サービスの既存事業所のうち、次の指導等を受けたものがある。【以下のいずれかに該当があれば減点】 (1)勧告・命令等 (2)文書指摘事項(サービス計画未作成・不備、避難訓練未実施、事故・苦情記録未整備、虐待防止及び身体的拘束に関するもの、個人情報保護に係る不備、報酬返還を伴うものに限る)	((1)に該当) -10	((2)に該当) -5	0		
施設・設備・運営計画	計画地	所有関係	土地及び建物が自己所有である。	(いずれも所有) 5	(いずれか所有) 3	3	
	施設・設備	安全性	緊急時の避難に配慮し、平屋建てであるか、2階建て以上の場合に周回バルコニーを設置している。		5		0
		共同生活室の面積	利用者1人当たりの面積(内法)		(6㎡以上) 5	(4.5～6㎡未満) 3	5
		居室の面積	施設内の最小床面積の1室の面積を14㎡以上確保している。(内法)		5		5
		トイレの設置状況	トイレを各居室に設置している。		(各居室に設置) 5	(3人に1箇所) 3	0
			利用者3人に対してトイレを1箇所以上設置している。				
			車椅子用トイレを設置している。				
		浴室の設置状況	浴室を設置している。 ※浴槽を設置していることが必要。シャワーのみは不可		5		5
			特殊浴槽を設置している。		5		5
		地域交流スペース	15㎡以上のサロンを設置している。(内法)		5		5
	人員	管理者の実務経験	介護職員等としての実務経験が10年以上の者を配置している。(令和7年6月1日時点) ※管理者等、直接処遇でない職種の実務経験を除く。		5		0
			管理者としての実務経験が2年以上の者を配置している。(令和7年6月1日時点)		5		5
		介護職員等の配置	介護職員又は看護職員を利用者2人に対して常勤換算方法で1人以上配置している。		5		5
	利用料金の減免		社会福祉法人減免を実施している。		5		5
	協議事業に係る併設等の営業体制		定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、複合型サービスのいずれかを併設する。		5		0
合 計				100		68	
評 価 順 位				①～⑤		②	